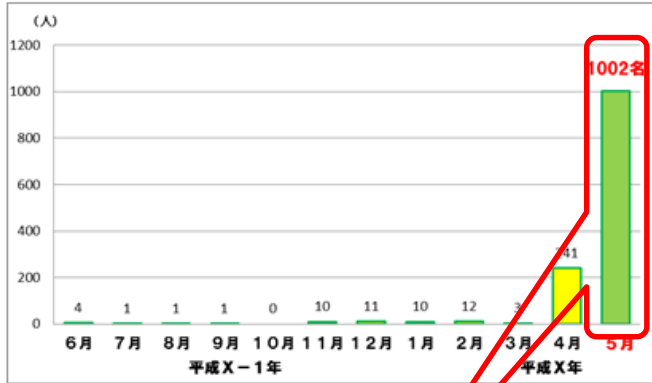


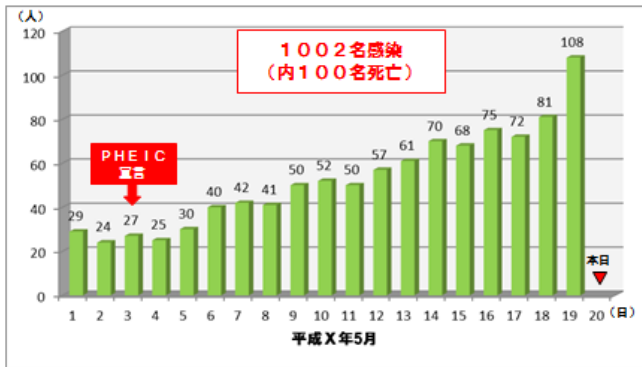
訓練

Y国における新規患者の発生状況の推移



訓練

Y国における平成X年5月の新規患者の発生状況の推移



1. Y国の状況

- 平成X-1年6月、新たな鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスのヒト感染4例を公表。その後の新規患者の発生は、散発的な発生に止まっていた。
- 症状は通常の季節性インフルエンザより重篤化し、肺炎などを引き起こす患者が多いことが報告されていた。
- 平成X年4月に入ってから新たな感染症例の報告が増加し、WHOの協力の下、疫学的調査を強化。
- 4月に発症した患者はY国内の5地域で241名であり、うち49名は死亡、残り192名は入院中又は退院。
- 5月23日現在、Y国内での5月に入ってから新規患者数は、1,000名以上であり、少なくとも100名が死亡。

2. WHOの状況

- 5月6日未明より、緊急委員会の助言を受けたWHO事務局長が記者会見を行い、「Y国において、A(H7N9)ウイルスが持続的にヒトヒト感染しており、国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態(PHEIC)に該当する」旨を公表。
- WHOは、現地派遣団をY国に派遣し、死亡した患者について、成人においては肺炎、小児においては脳症による死亡が多数であることを公表。
- WHOは、Y国で発生したA(H7N9)ウイルスに対し、抗インフルエンザウイルス薬の有効性があることを公表。

3. 日本国の状況

- 5月6日、WHO事務局長の記者会見を踏まえ、厚生労働省は、Y国で発生したA(H7N9)を「新型インフルエンザ等感染症」と判断。速やかに、特措法第14条に基づき、総理へ同発生を報告。総理からは「特措法に基づき、政府対策本部を設置せよ。」との指示。
- 上記指示を受け、同日、政府対策本部を設置し、基本的対処方針を決定
- 5月17日、日本国内の空港における検疫でY国から帰国した新型インフルエンザ感染患者を確認し、その際、肺炎の症状を呈し、現在入院中。
- 5月20日、A県内で新型インフルエンザ感染患者(国内初発例)を確認し、基本的対処方針を変更。

4. その他の地域の状況

- Y国のほか数か国において公表された感染症例が増加傾向である。

情報伝達等訓練の想定＜B県での患者発生の経過＞

1 事実関係

5月23日08:00現在

(1) B県1例目の状況

平成X年5月22日、23:00頃、B県衛生研究所において、B県M市から搬送された患者の検体を検査した結果、新型インフルエンザA(H7N9)の疑いがあることが判明した。

(参考) 疑い患者の属性及び周辺状況

- ・ 疑い患者である、B県M市在住の30代の男性Oさんは、職業は会社員であり、B県M市で勤務
- ・ 疑い患者は、渡航歴はなく、感染経路の特定ができないことが判明している。
- ・ 発症時期は、5月19日10:00で、症状は重症化しており、肺炎を引き起こしている。
- ・ 5月23日08:00現在、国立感染症研究所においてインフルエンザA(H7N9)の感染を特定した。

(2) B県2～5例目の状況

その後、4例の疑い患者が確認された。患者の状況は下記の表のとおり。

症例	年齢	性別	症状	渡航歴	B県1例目との関連	発症日	5月23日08:00現在の特定状況	感染の特定状況
B県2例目(P)	30代	女性	発熱・せき	なし	妻	5月21日09:00	地方衛生研 A(H7) 陽性 5月23日02:10	特定
B県3例目(Q)	10代	女性	肺炎	なし	なし	5月22日18:00	地方衛生研 A(H7) 陽性 5月23日04:00	特定
B県4例目(R)	20代	男性	発熱・せき	なし	同僚	5月22日20:00	B県医療機関 A陽性 5月23日08:00	未特定
B県5例目(S)	30代	女性	発熱・せき	なし	同僚	5月22日21:00	B県医療機関 A陽性 5月23日08:00	未特定

(3) A県とB県は隣接していない。

2 検体検査状況

※黄色セルは予定時刻

症例	医療機関における簡易検査	地方衛生研究所	国立感染症研究所
B県1例目(O)	陽性(5月22日17:00)	陽性(5月22日23:00)	陽性(5月23日08:00)
B県2例目(P)	陽性(5月22日20:10)	陽性(5月23日02:10)	陽性(5月23日11:10)
B県3例目(Q)	陽性(5月22日22:00)	陽性(5月23日04:00)	陽性(5月23日13:00)
B県4例目(R)	陽性(5月23日08:00)	陽性(5月23日13:30)	陽性(5月23日20:30)
B県5例目(S)	陽性(5月23日08:00)	陽性(5月23日13:30)	陽性(5月23日20:30)

情報伝達等訓練の想定＜B県での感染状況＞

5月23日08:00現在

〇さん家族

①
発症日
5/19
10:00



〇さん

感染研
陽性

- ・ 男性
 - ・ 30代
 - ・ 渡航歴なし
 - ・ 症状：肺炎
- 潜伏期間中～発症3日後まで
〇〇物産で勤務しており、通勤
は自転車、接触は室員の10名
程度と家族のみ

②
発症日
5/21
09:00



Pさん

地衛研
陽性

- ・ 〇の妻
 - ・ 女性
 - ・ 30代
 - ・ 渡航歴なし
 - ・ 症状：発熱、せき
- 前日から症状が出ていたが、
我慢していた。

関連不明

③
発症日
5/22
18:00



Qさん

地衛研
陽性

- ・ 女性
 - ・ 10代（中学生）
 - ・ 渡航歴なし
 - ・ 基礎疾患：ぜんそく
 - ・ 症状：肺炎
 - ・ 〇と接触なし
- 5月22日22時に病院（〇
の入院病棟とは別病棟）救急外
来に受診し、現在入院中。

④
発症日
5/22
20:00



Rさん

簡易検査
陽性

- ・ 〇の同僚
 - ・ 男性
 - ・ 20代
 - ・ 渡航歴なし
 - ・ 症状：発熱、せき
- 前日から症状が出ていたが、
我慢していた。

⑤
発症日
5/22
21:00



Sさん

簡易検査
陽性

- ・ 〇の同僚
 - ・ 女性
 - ・ 30代
 - ・ 渡航歴なし
 - ・ 症状：発熱、せき
- 前日から症状が出ていたが、
我慢していた。

〇〇物産

凡例
○内は発症順

情報伝達等訓練の想定<国及び県の主な動き>

想定日時 想定時刻	主な国の動き	主な都道府県の動き
5月22日 (17:00)		感染疑い患者から検体を採取(B県1例目) 地衛研へ検体搬送・検査
(23:00)		地衛研で検体検査が陽性(B県1例目)
5月23日 (08:00)	諮問委員との連携 感染研で検体検査が陽性(1例目)	感染研へ検体搬送・検査 地衛研で検体検査が陽性(B県2、3例目) 簡易検査で検体検査が陽性(B県4、5例目)
08:30	諮問委員との連携 今後の対応検討・調整	訓練部分 感染患者確定の公表
閣議前又は後の 20分程度	感染患者確定、諮問委員会、対策本部会合開催の公表 基本的対処方針諮問委員会への意見聴取 政府対策本部運営訓練 ■ 緊急事態宣言の公示 ■ 政府対策本部会合の開催 ○ 基本的対処方針の変更 等	「市町村」、「指定地方公共機関」等への連絡訓練 ※実線枠 実際を実施する部分 ※点線枠 実施したとみなす部分
11:00	官房長官記者会見	
11:10	「都道府県」、「指定公共機関」等への連絡訓練(本部決定事項等の連絡)	「市町村」、「指定地方公共機関」等への連絡訓練
11:30	事務方記者会見	県対策本部会議の開催

↑ B県の動き

↓ 本県の動き